

キャンパスライフ意識調査¹⁾ 学科学生の横断的調査

中町 芙佐子

本研究は、本学人間福祉学科学生の教育内容に対する満足度や、専門科目・一般教養科目・語学への関心度、さらに、学生自身の自己採点による学習効果などの調査結果を分析したものに基づいている。調査に当たっては事前に回答内容は他の人に知られないこと、調査結果は統計的な処理を行い、本学の教育改善の目的のみに使用することを学生に伝え、247名の学生が参加した。今回の調査で、学生が専門教育への高い関心を持っていることは当然のこととしても、一般教育や語学科目の受講も必要と考えおり、広く幅のある教育内容を欲していることが明らかとなった。また、大学に対して望んでいる指導では、個別指導でも集団指導にても、カリキュラム編成、卒業単位や履修登録方法、効果的な学習方法、就職相談などの指導を望んでいた。今回は学年を横断的に追う調査であるが、引き続き同様の調査を実施して当該学年の意識変化を縦断的に追うものである。

キーワード：大学教育，キャンパスライフ，学習効果

はじめに

本研究は本校人間福祉学科の2専攻（社会福祉専攻・介護福祉専攻）の新生から4年までの学生にキャンパスライフについての意識調査の実施し、その調査結果に基づいたものである²⁾。

今回の調査は「キャンパスライフ調査」の第1回調査結果として、人間福祉学科両専攻の学生を対象に2008年4月～5月の期間に授業やゼミあるいは昼休みなどの時間で学年ごとに行った³⁾。調査項目は20項目あり、属性にかかわる5項目、科目の関心度にかかわる5項目、高校時代についての3項目、学業に関するもの1項目、大学に望む指導についての質問1項目、個々の学生のキャンパス外での生活にかかわるもの3項目、その他自由記載が2項目の計20項目から成り立っている⁴⁾。

人間福祉学科に入学を決めた理由のうち、多か

ったのが「資格を取るために必要」、「専門知識をつけたい」、「大学で学ぶ内容に興味があった」であり、「周囲の人が進めた」や「親の希望」や「すぐ働きなくなかったから」などは進学の動機としては低かった。また、専門科目授業を受講することには関心が高いのは当然として、語学や一般教養科目については「受けなければならないと思う」と考えており、語学については2年生が42%と低いが、他の学年は半分が受けなければならないと考えていることが分かった。また、カリキュラム編成や卒業単位の指導、効果的な学習方法の指導、大学で利用できる制度やサービス（留学制度や就職相談などをふくめ）の指導は個別でも、そして授業などで指導をしてほしいと願っていることが見える。

1. 回答者の属性について

人間福祉学科全学生（女子学生）289名のうち247名が回答。回答率は96%であった。

表 - 1 回答者の属性

N=247	回答者数
社会福祉専攻	177
介護福祉専攻	70
1年生	45
2年生	59
3年生	50
4年生	93
自宅通学	201
自宅外通学	44
一般入試	88
指定校推薦入試	48
一般推薦選抜入試	15
AO入試	55
大学入試センター利用入試	36
その他の特別選抜(外国人留学入試、 社会人特別月選抜入試)	2
一般入試とセンター入試	2

2. 本学科を何番目に志望したかについて

(表 - 2)

表 - 2 本学を何番目に希望したか

第一希望	109
第一希望以外	136
現役	219
一浪以上	21
その他(留学生、社会人など)	4

3. 大学に進学した理由

本学の人間福祉学科を選択した理由は、表 3 が示すように、非常に重要と回答があった項目で、「資格を取るため」がもっとも多く、次に専門的知識をつけたかったから、3番目に「大学で学ぶ内容に興味があったから」であった。「親が希望したから」や「周りの人たちが進学を希望したから」という項目は大学に進学するための理由としては低かった。

4. 高校の成績について (n = 245)

高校での成績について「上位のほうだった」から「わからない。覚えていない」までの6段階

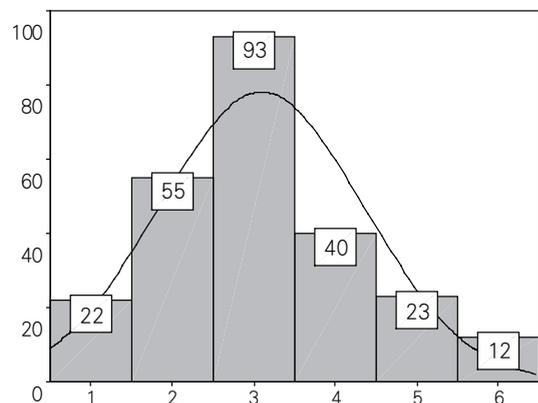
表 - 3 本学に進学した理由

	資格を取るために必要だったから	専門的知識を身につけたかったから	大学で学ぶ内容に興味があったから	幅広い教養を身につけたかったから	学生生活を楽しんでみたかったから	就職有利だから	より高い学歴のために必要だったから	すぐに働きたくなかったから	親の希望だから	周りの人たちが進学を希望したから
非常に重要	59.8	55.0	45.8	38.6	31.3	30.5	11.6	9.6	5.6	4.8
重要	16.5	24.1	22.9	28.1	26.5	31.3	33.3	38.2	37.3	36.5
いづらか重要	21.7	18.9	27.3	29.3	39.0	36.1	48.6	42.6	48.2	51.4

で尋ねたところ、図のように「中くらいであった」と回答した群を頂点とした分布曲線を示した。

(図 - 1)

図 - 1 高校の成績



1上位 2中の上位 3中位 4中の下 5下位 6覚えていない

5. 授業の関心度

授業への関心度について、福祉専門科目、一般教養科目、語学に分け、それぞれについて、「授業を受けたい」、「とりあえず授業を受けなけ

ればいけないと思っている」、「できれば授業を受けたくない」の3つからの選択である。下の図-2に見るように、専門科目は受講関心度が高く、1年生ではほぼ9割、2年から4年生は7割が受講したいと考えている。一方、一般科目や語学に関しては、受講したいと思う割合は低いが、下の図-3で明らかなように、特に1年生にあっては一般教養科目を受講しなくてはならないと思っているし、語学にあっては、高学年になって語学科目を取る必要がなくなっているにもかかわらず、受講しなければならないと思っている。

図-2 受講したい科目

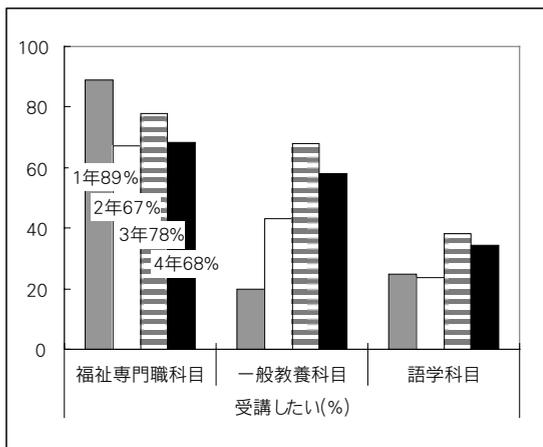
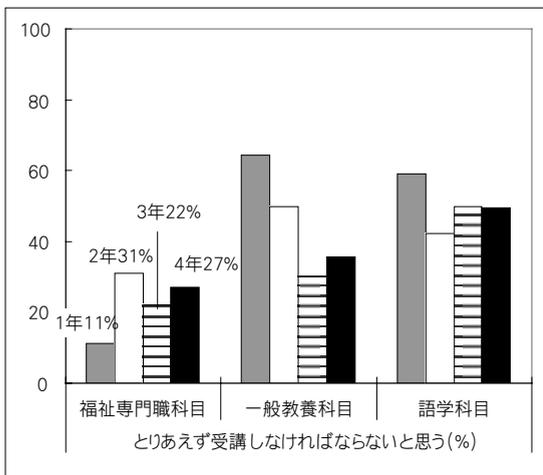


図-3 とりあえず受講しなければならないと思う科目



6. 一年前と現在を比較してみて学習効果があったかどうか。(2年生, 3年生, 4年生を対象)

以下の14項目は、調査の時点で、学学年に「一年前を思い出してみ」と、現時点でそれぞれ「身につけていたと思う」、「少しは身につけていた」、「身につけていなかった」の3段階から選択をしてもらうもので、1年間の学習効果があったかを自己評価する質問する項目である。

1. 自分のスケジュールの管理
2. 学習の計画を立てること
3. 課題の提出期限を守ること
4. 欠席した授業の内容をすぐ補うこと
5. 積極的な態度で授業に臨む
6. 文献や資料を読む力
7. パソコン等を使って文章や資料を作る力
8. 文章を書く力
9. 常識について
10. 教養を身につける
11. レポートや論文の書き方を身につける
12. 専門領域の知識を身につける
13. 社会問題や政治問題の分析力
14. コミュニケーション力

■一年前と現在を比較して学習効果と関連性が高いと考えられる6項目

前述の14項目を各学年に質問し、一年前と現時点で自己採点をしてもらった。一年前に各項目がどうであったかを、「身につけていた」、あるいは「少しは身につけた」、あるいは「全然身につけなかった」から選択してもらい、現時点では「身につけている」、「少し」、「全然身につけていない」から選んでもらった。その結果をWilcoxonの符号付順位検定を用いて一年前と現時点で代表値に差があるかを見た。2年生では「スケジュールの管理」、「学習計画」、「課題を期限内に提出する」、「パソコンなどで文書や資料を作る」、「文章力」、「レポートや論文の書き方」、「専門知識」、「コミュニケーション」に差があった。

3年生では「スケジュールの管理」、「学習計画」、「欠席した授業の内容をすぐに補う」、「パソコンなどで文章や資料を作る」、「レポートや論文の書き方」、「専門知識」、「社会問題や政治問題の分析

力」、「コミュニケーション力」に差があった。

4年生では14項目のうち、「課題提出」、「教養を身につける」以外12項目に差があった。

(いずれも $p < .000$)

なお、2年生・3年生・4年生の年次ごとの詳細な回答は別途資料に示した(別表 p.1)

ここでは、一年前と現時点を比較して、2・3・4年生すべてが1年間のキャンパス生活で学習効果があったと回答した8項目を取り上げて、グラフで明らかにしていく。

8項目は以下のとおりである。

- 「スケジュールの管理」(図-4)
- 「学習の計画の立て方」(図-5)
- 「欠席した授業の内容をすぐに補う」(図-6)
- 「パソコンなどで文章や資料を作る力」(図-7)

「レポートや論文の書方」(図-8)

「専門領域の知識」(図-9)

「社会問題や政治問題を分析する力」(図-10)

「コミュニケーション力」(図-11)

左下の図-4はスケジュール管理についての質問項目である。2年生では一年前の自分を振り返ってみて、その時点で「自分のスケジュールを管理することが身についていた」と、「少し身についていた」と合計するとほぼ60%であったものが、2年生になった現時点では90%以上が「管理することが身についている」あるいは「少し身についている」と回答している。また、3年生と4年生については、現時点で「スケジュールを管理することが身についている」と半数が回答している。

下の図-5は学習の計画を立てることができた

図-4 スケジュール管理について

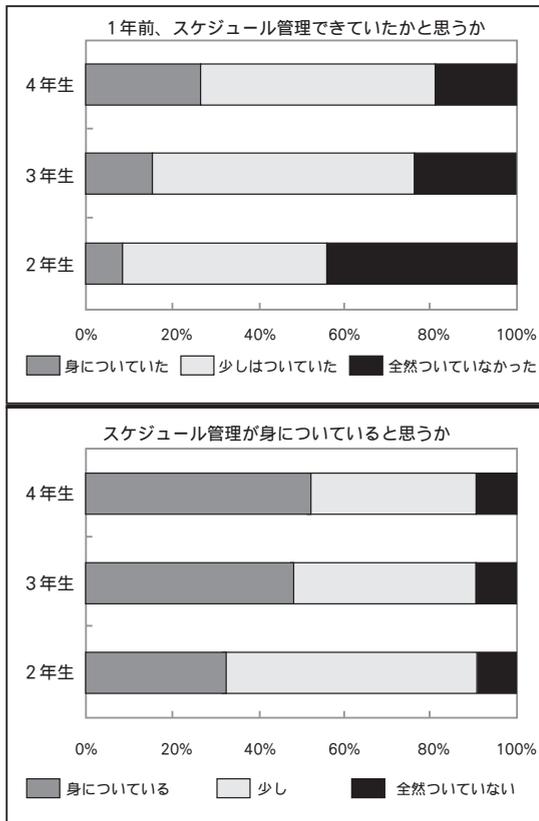
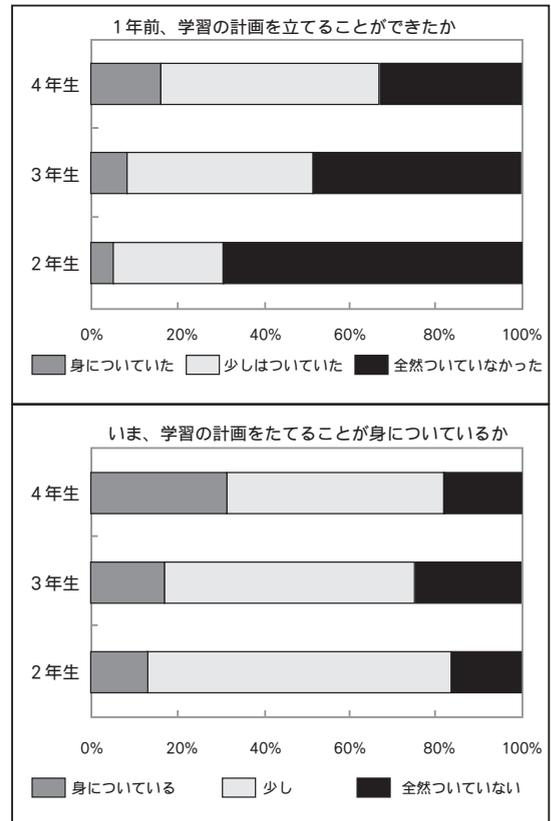


図-5 学習の計画を立てる



かどうかを、2年生・3年生・4年生ごとに「1年前」と「現時点」で自己評価した回答をグラフにしたものである。

2年生は、新入生として受講した当時に振り返って見たとき、「学習計画を立てることが身についていたかと思うか」の質問では「身についていた」が5%、「少しはあった」と答えた者が25%程度であったのが、2年生として現時点で自己評価すると、「身についている」が12%、「少しある」が70%と、かなりあがっている。

3年生については1年前を振り返ってみてその当時「身についていた」が8%、「少し」が44%、それが現時点で「身についている」に16%、そして、60%が「少し」に回答している。4年生では、1年前、「学習計画をたてることに身についていたと思う」が15%強、「少し」が50%、いまの時点では、「身についている」のが30%、

「少し」が50%と自己評価している。

左下の図-6は「欠席した授業をすぐ補う」のグラフである。学年特性というものがなく、どの学年も1年前は「身についていた」、「少し身についていた」、「全然ついていなかった」の割合が30:40:30となっている。現時点では多少学年でのばらつきが見られるものの、「全身体につけていない」が1年前の半分となっている。

下の図-7はパソコンの操作の学習については、各年度で、1年前と現在を比較して、技術的な進歩しているかを問うものである(図-6)。2年生は新入生であった48%ほどが「全身体につけていなかった」と1年前を振りかえり、現時点では「全身体につけていない」は12%である。3年生では14%、4年生では8%程度がまだ、全身体につけていないと思っている。

図-6 欠席した授業の内容をすぐに補う

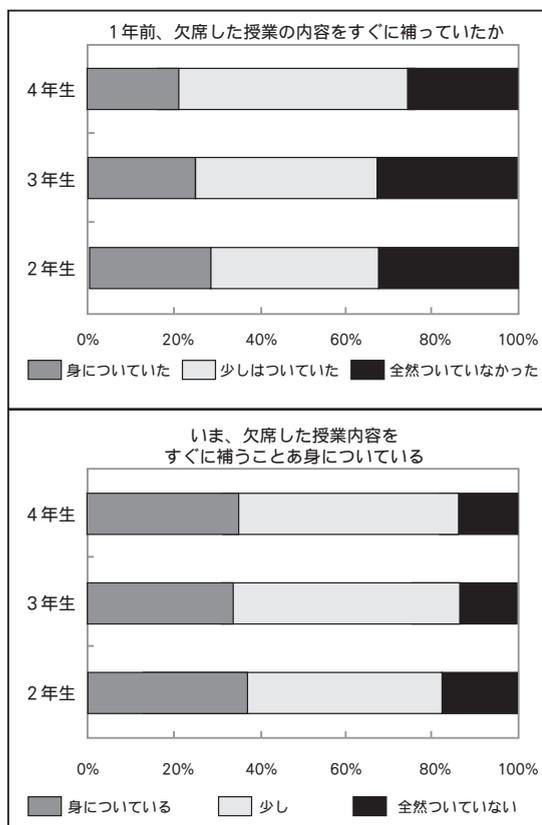
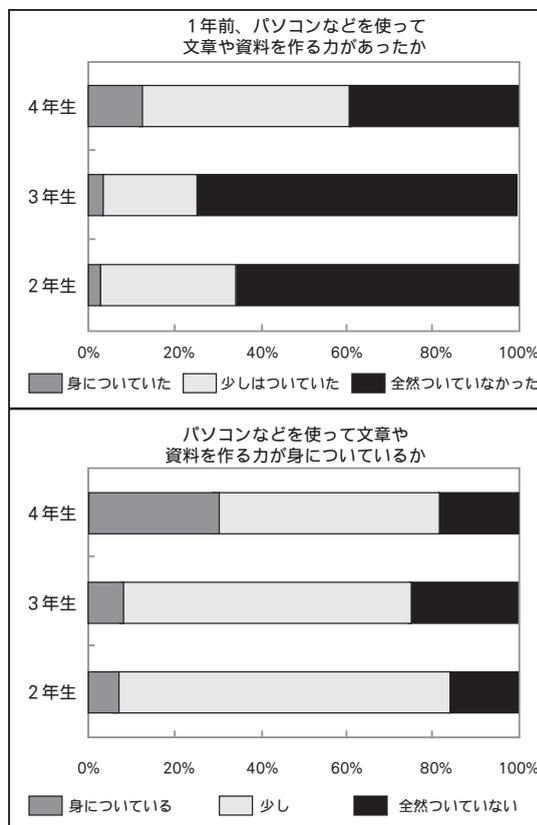
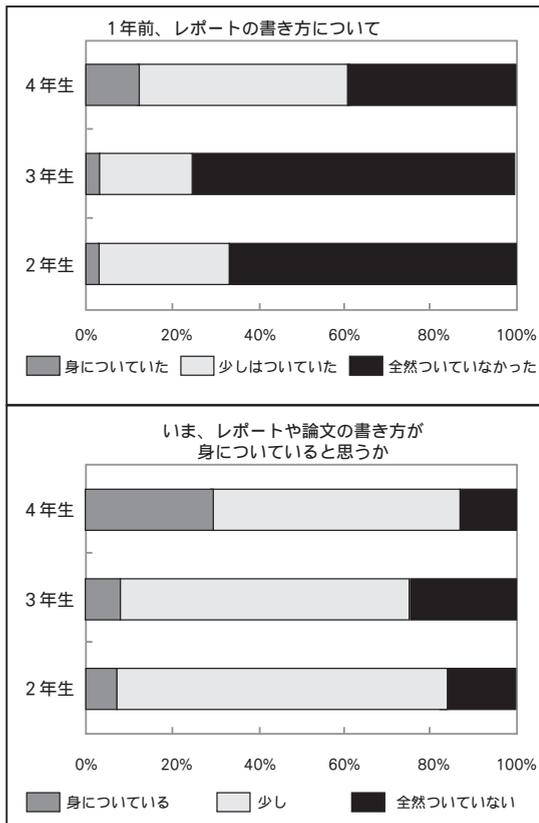


図-7 パソコンなどを使って文章や資料を作る力について



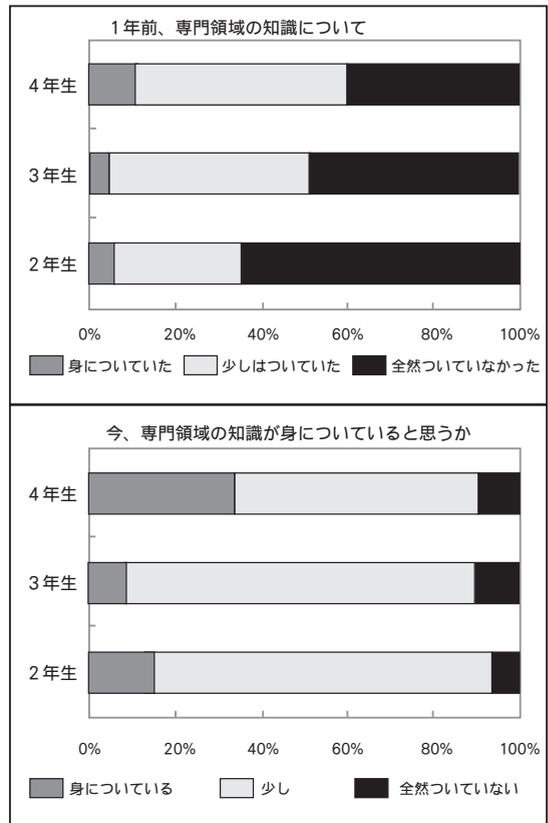
下の図 - 8 はレポートの書き方についての質問である。一年前は、「全然身につけていなかった」との回答者が 2 年生では 64.4%、3 年生で 76%、4 年生で 37.6%であったものが、現時点で「全然身につけていない」と回答した 2 年生は 15.3%、3 年生で 24%、4 年生で 11.8%と減少している。

図 - 8 レポートや論文を書く力について



右上の図 - 9 は専門領域の知識について、2 年生、3 年生、4 年生のそれぞれが、一年前と現時点で身につけているかどうかを 3 段階で自己評価したものである。どの学年でも現時点で「少しは身につけている」と回答したものが多く、「身につけている」と「少しは身につけている」を合計すると、どの学年もほぼ 90%である。特に 3 年生にあっては一年前では「専門知識は身につけていた」が 4%、「少しは身につけていた」が

図 - 9 専門知識について



45%であったものが、「身につけた」は 8%、「少し身につけた」が 84%と、それぞれで倍となっており、現時点で「身につけている」と「少し」を合計すると 92%となる。

次ページ左上の図 - 10 は社会問題や政治問題を分析する力の設問である。2・3 年生は一年前と現時点ではほとんど変化ないが、4 年生になると、現時点で「身につけている」と回答する割合が倍になる。また、どの学年も一年間に全然分析力がなかったのが、「少しついている」と評価している。

次ページ右上の図 - 11 はコミュニケーション力についての質問についての各学年が回答したものをグラフにしたものである。特徴的なのは、一年前を振り返ってみて「コミュニケーション力」については、すべての学年で1年間でコミュニケーション力が上がり、現時点で「コミュニケーション

図 - 10 社会問題や政治問題の分析力について

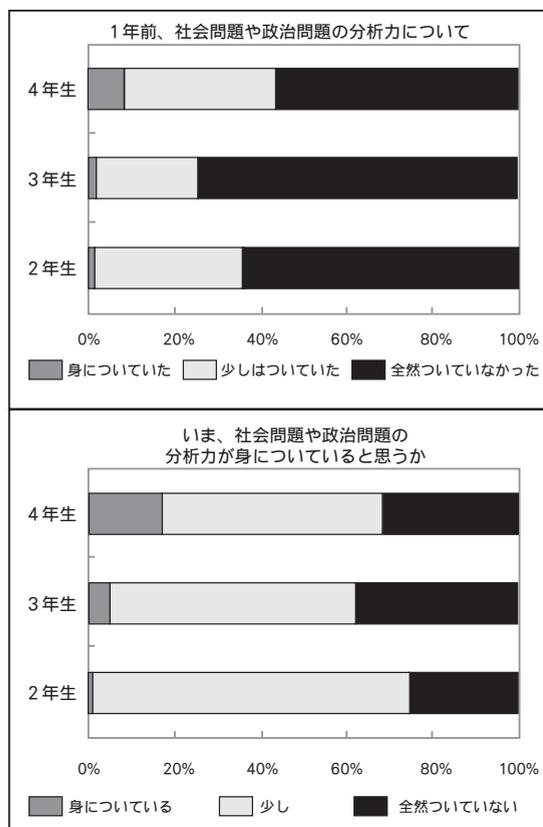
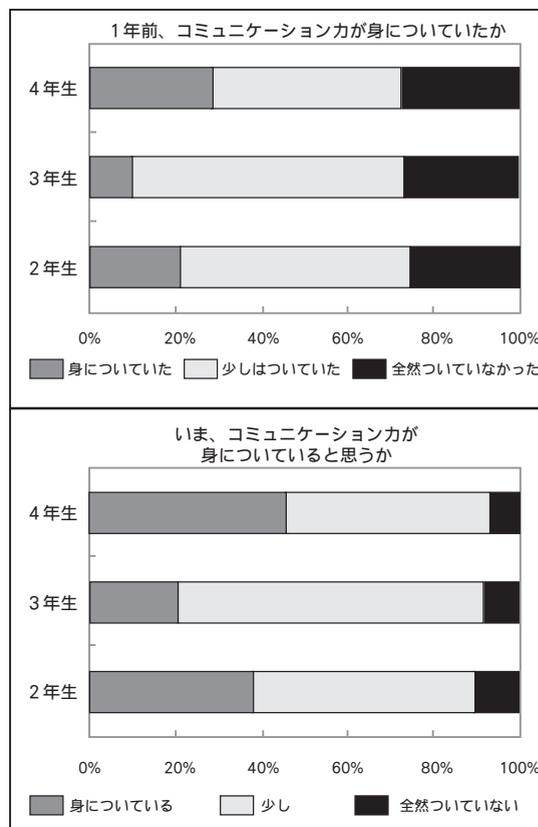


図 - 11 コミュニケーションについて



ン力が全然みについていない」と考えている学生は7～10%である

■一年前と現在を比較して、学習効果が低い項目
2年生と4年生は、14項目いずれも一年前と現時点を比較すると、統計的にも差がみられた。しかし、3年生の回答は他の学年と違う傾向を示した。3年生は、一年前を振りかえり、今の時点で14項目を自己採点すると「課題の提出期限を守る」(p=.059),「積極的に授業に臨む」(p=.052),「文献や資料を読む力」(p=.021)でp値が大きくなった。3年生が新学期を迎えた現時点で一年前の2年生という時期を振り返った自己採点から推しはかると、2年生という時期は、他の学年より学習に対する態度・意欲を低くする要素があるのかもしれない。

ここでは3年生を焦点にあて、「課題の提出期

限を守る」(図-12),「積極的な態度で授業に臨んだか」(図-13),「文献や資料を読む力」(図-14)をグラフにして、各学年を比較してみることとする。

以下、図-12～図-14を順に見ていく。

まず、「課題の提出期限を守る」の項目について、「一年前」と「現時点」を学年で比較すると、次ページ左上図のようになる(図-12)。各学年とも、一年前では期限を守らなかったと回答した学生は学年を通してほぼ10%前後いたものの、90%の学生は期限を守っていた。また現時点で期限を守ることが身についていないとする学生は一桁台ではいるものの、学生は期限を守ることが習慣づいていると考えられる。

図 - 12 期限内に課題を提出する(1年前と現在)

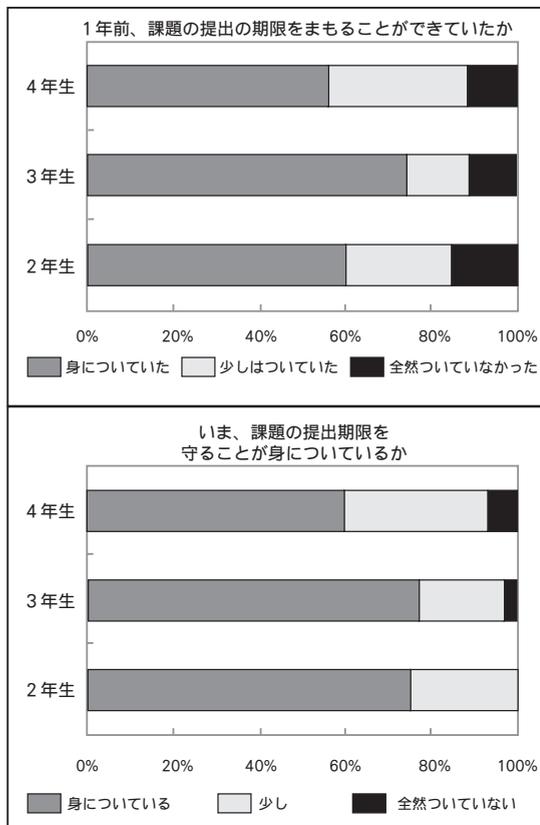
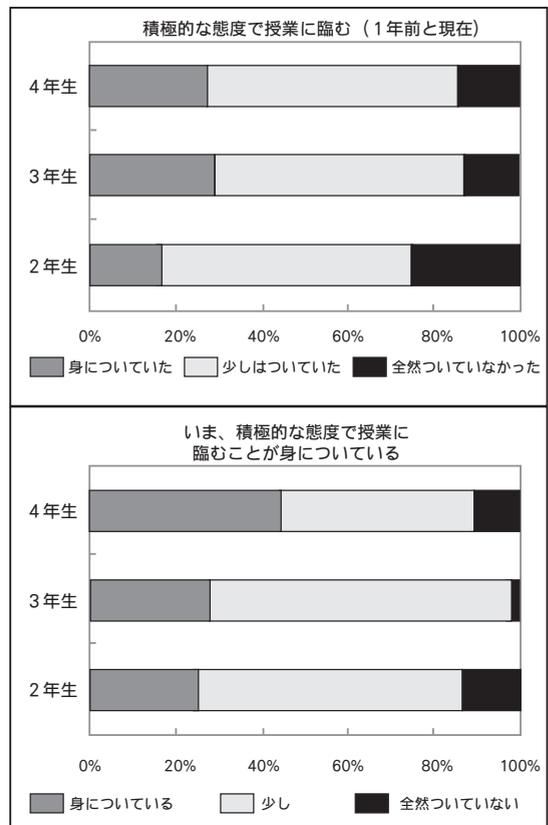


図 - 13 積極的な態度で授業に臨む(1年前と現在)



右上の図 - 13 は「積極的な態度で授業に臨む」である。一年前を振りかえり、「身についていた」と思うと答えた学生は、2年生では14%、3年生では26%、4年生では24%、そして現時点ではそれぞれ、24%、26%、40%である。これを見ると、現時点で少しは積極的になっているが、一年前と現時点では「積極的に授業に臨む」という姿勢と学年進行での学習効果とあまり結びついてないと考えられる。

次ページ左上の図 - 14 は、「文献や資料を読む力」についてのグラフである。一年前を振りかえり、「全然身についていなかった」と思う学生は2年生で36%、3年生で40%、4年生で37%であり、現時点では2年生で17%、3年生で24%、4年生で16%がいまも「全然身についていない」と考えていることがみえてくる。

7. 授業や個別で指導してほしいこと

1年生から4年生までの学生を対象に、以下の項目について尋ねた。

1. 大学の建学や理念
2. 大学の歴史
3. カリキュラム編成と卒業単位履修
4. 履修登録方法
5. 授業担当教員の学問的期待
6. 効果的な学習方法
7. 大学内の施設・設備の利用方法
8. 大学で利用できる制度(留学など)
9. 大学で利用できるサービス(就職相談)
10. 学習や生活面での悩みを相談する方法
11. キャンパスのルール

ここでは特に強く大学の指導を望んでいる3項目について述べてみる。(11項目の詳細な内容は別途資料の別表 p.2 を参照)

図 - 14 文章や資料を読む力（1年前と現在）

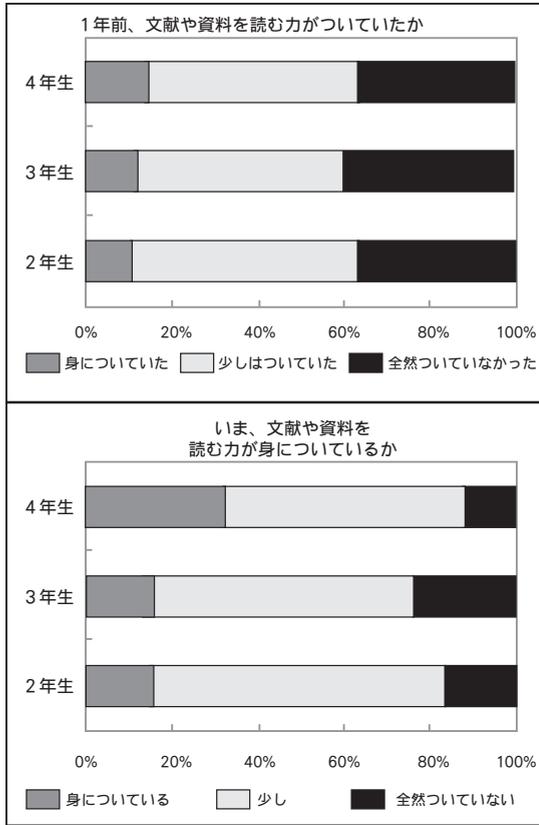
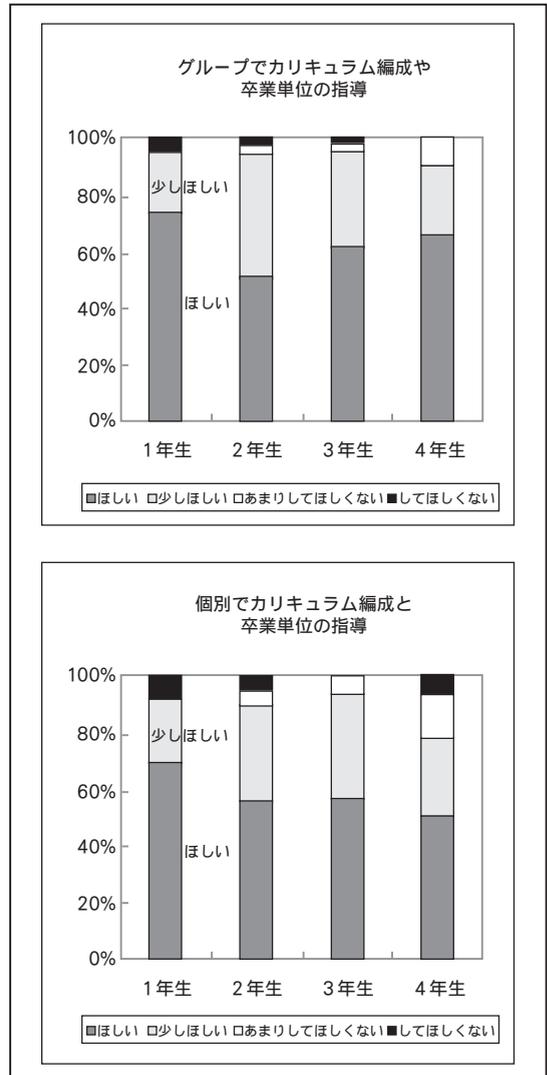


図 - 15 カリキュラム編成や卒業単位の指導について



右上の図 - 15 をみると、集団が個別かに関係なく、新入生は指導をほしいと思っており、全学年とも「指導してほしい」と「少し指導がほしい」を合わせると、4年生の個別指導の割合が80%弱のほか、90%を超える学生が指導を望んでいる。

次ページ左上の図 - 16 は効果的な指導についての1年生から4年生のグラフであるが、これについても「指導してほしい」、「少し指導がほしい」を合わせると、90%以上の回答者が集団・個別にかかわらず、指導を求めていることが分かる。

図 - 17 は大学でのサービス（就職相談など）の指導について、各学年とも「指導がほしい」と「少し指導がほしい」で90%以上を占めている。

以上の結果を見るように、学年を問わず、カリ

キュラム、卒業単位、あるいは、就職相談など、個別でも集団でも指導を求めており、これは大学教育体制として、あるいは個々の教員側の接触を求め、コミュニケーションをとりたいという気持ちの表れであると考えられる。河地和子が著書「自信力が学生を変える」で、学生が教員ともっと接触したい理由は、授業内容を理解するというだけでなく、教員がどのような経緯で専門を選んだか、など、教える人間としてというより社会人として教員を見ており、そこには社会人として関

図 - 16 効果的な学習方法の指導について

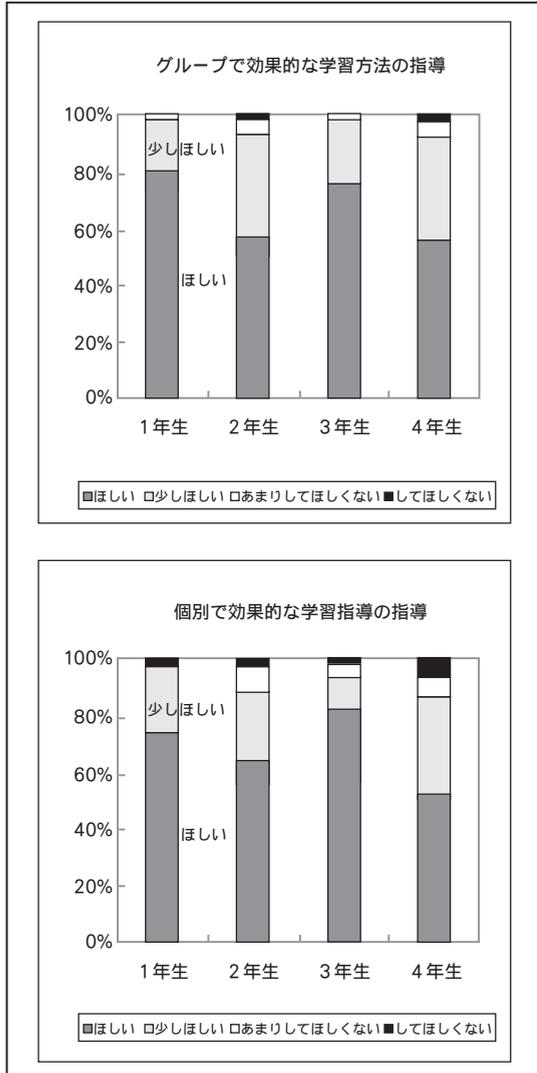
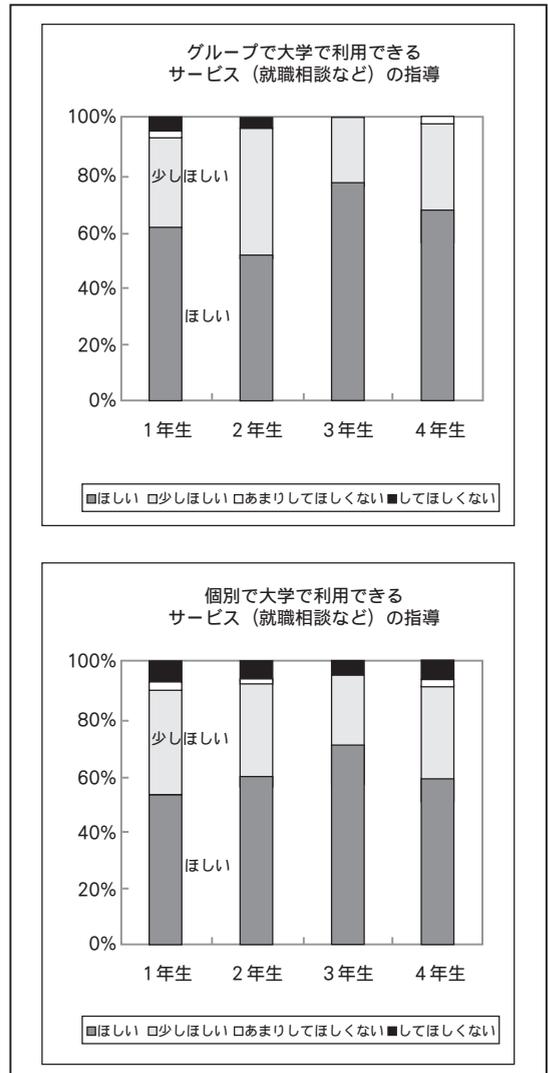


図 - 17 大学で利用できるサービス（就職相談など）の指導



わりたいという願いがある，と述べているが⁵⁾，本調査の学生にあっても「指導してほしい」という意見が高いということは，教員ともっと近づきたいというメッセージを受け止めた。

9. 最後に回答者の学習活動（授業以外で），アルバイト時間，最近 3 ヶ月で読んだ本についての回答は以下のとおりである。

授業時間以外で 1 週間に学習活動に使った時間は何時間かとの問いに，1 時間以下と回答した

学生が圧倒的であった。これは，1 日当たり 10 分程度であり，ほとんど学習活動をしていないという現状をしめすものであった。（図 - 18）

これは他の大学生調査にでている時間数よりはるかに少ないものである⁶⁾。

次に，一週間に何時間アルバイトをしているかとの質問には，11 時間～ 20 時間が一番多く，これは平均一日 2 時間～ 3 時間である。（図 - 19）

図 - 18 一週間で何時間学習活動をしたか

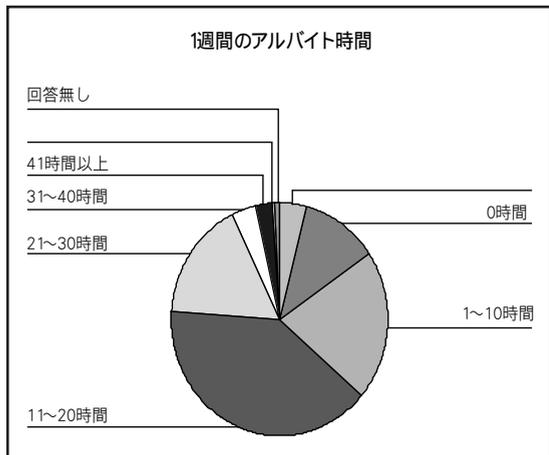


図 - 20 3ヶ月間に何冊本を読んだか

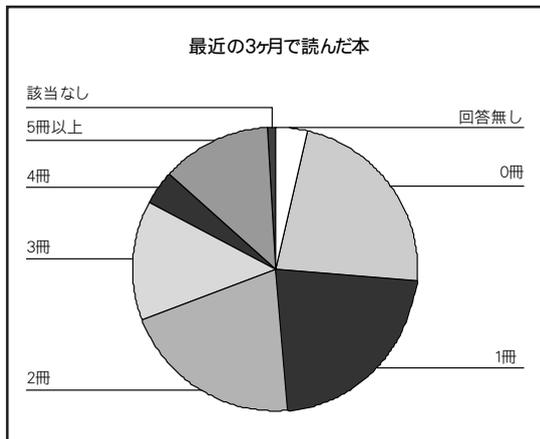
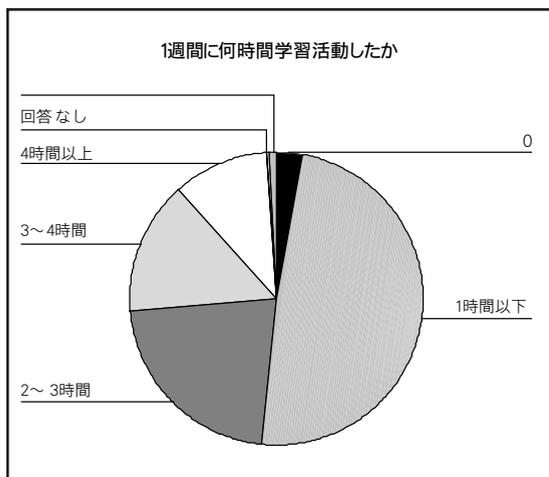


図 - 19 一週間のアルバイト時間



また、最近の3ヶ月間で何冊読んだかの質問では、1ヶ月に一冊に満たない回答者は6割で、平均1冊が14%、1冊~2冊が16%という結果であった。(図-20)

今後の課題

人間福祉学科学生は福祉専門職への関心度が高く、資格志向であることは明らかであるが、一般教養や語学もやらなければならないと考えている。このことは、学生が大学の教育には語学や一般教養知識を培うところであり、人間形成の場として大学をとらえていると考えていることを示唆

している。しかし、現実には厚生労働省などの指導もあり、大学卒業時に専門職としての知見もつために必要と要請のある専門領域の科目配置をせざるを得ない。そのため、現実にかリキュラムの中に学生の滋養になる語学や一般教養科目が入りにくいのが現実である。

絹川正吉は「大学教育の思想」のなかで、大衆化した現在の大学教育の問題と責任について述べている。そのなかで、絹川は専門科目の学習は専門教育 (professional education) のためだけでなく、人間形成を目的とするものであり、専門が教養であるべきなのだが、現実の大学はそれをしていないと言う。大衆化した大学は多種多様な科目があるものの、学生が何を学ぶべきかに関して大学全体として合意がなく、一方学生は人生を見つめる前に職業で成功することばかりを気にして、即効性がない教養科目に身を入れない⁷⁾。しかし、河地が言うように、そうしながらも、やるべきものをみつけない、達成感がほしいと、そうした授業を受けたいと思っていることはこの調査で見える。

授業への準備を含め、学習活動時間が著しく少なく、また、読書への関心度が少ないことも3ヶ月に読んだ本の数が1、2冊という回答がある一方で、大学にかリキュラムや効果のある学習方法を指導してほしいと願っていることをいかに実現していくか、全力をあげて取り組まなければな

らない重大な課題である。学生はやるべき指針がほしい、充実感をもてる授業がほしいと渴望している。授業をする時空は、日常的雑務に忙殺されがちな教員が大学教育の責務を果たす時空であり、アルバイトを優先しがちな学生が大学教育に充足感を獲得しうる時空である。この両者がであう時空をどのようにしていくか、難しいがしなければならぬミッションである。

注

- 1) この調査は、私立大学等経常費補助金特別対象事業「平成 20 年度教育・学習方法など改善支援事業」の「社会福祉専攻学生のための実習前教育ワークショップ」の一環として実施したもので、本論はこの調査分析報告書である。
- 2) 調査集計は第 4 期卒業生の金子利恵さん、7 期

卒業生の須藤沙織さん、長峯由香さんの協力を得た。

- 3) 今回は第 1 回調査であり、2009 年 3 月に 4 年生に対してのみ行う第 2 弾、引き続き、新学期に新入生から新 4 年生に第 3 弾としての調査をする計画である。
- 4) この調査項目は同志社大学教育開発センターがどう大学生に 2006 年実施した項目を一部本学の状況にあわせるために変更したもので、同大学教育開発センターから使用許可を得ている。
- 5) 河地和子：自信力が学生を変える 平凡社新書、2005
- 6) 河地和子：自信力が学生を変える 平凡社新書、2005
- 7) 絹川正吉：大学教育の思想 pp.109-145 (東信堂 東京 2006)

(2009.3.26 受付 2009.5.20 受理)

別途資料

1年前と現在を比較してみても学習効果があったかについての質問14項目(%)

2年生	1年前を思い出して		
	身につけていた	少しは身につけていた	全然身につけていなかった
自分のスケジュールを管理する	8.5	49.2	39.0
学習の計画を立てる	5.1	25.4	66.1
課題の提出期限を守る	57.6	25.4	13.6
欠席した授業の内容をすぐに補う	28.8	37.3	30.5
積極的な態度で授業に臨む	13.6	59.3	23.7
文献や資料を読む力	10.2	50.8	35.6
パソコンなどを使って文章や資料を作る力	16.9	32.2	47.5
文章を書く力	10.2	47.5	40.7
常識について	15.3	62.7	20.3
教養を身につける	8.5	66.1	23.7
レポートや論文の書き方	1.7	30.5	64.4
専門領域の知識を身につける	6.8	27.1	62.7
社会問題や政治問題の分析力	1.7	33.9	61.0
コミュニケーション力	20.3	52.5	23.7

今に時点で		
身につけている	少しは身につけている	全然身につけていない
32.2	61.0	5.1
11.9	71.2	15.3
72.9	25.4	0.0
39.0	42.4	16.9
23.7	61.0	13.6
16.9	61.0	20.3
28.8	57.6	11.9
13.6	66.1	16.9
23.7	59.3	13.6
11.9	72.9	11.9
6.8	76.3	15.3
13.6	79.7	5.1
1.7	71.2	25.4
37.3	50.8	10.2

3年生	1年前を思い出して		
	身につけていた	少しは身につけていた	全然身につけていなかった
自分のスケジュールを管理する	16	62	22
学習の計画を立てる	8	44	48
課題の提出期限を守る	76	14	10
欠席した授業の内容をすぐに補う	28	40	32
積極的な態度で授業に臨む	26	58	16
文献や資料を読む力	12	48	40
パソコンなどを使って文章や資料を作る力	14	50	36
文章を書く力	14	50	40
常識について	14	72	14
教養を身につける	4	80	16
レポートや論文の書き方	2	22	76
専門領域の知識を身につける	4	46	50
社会問題や政治問題の分析力	2	24	74
コミュニケーション力	10	64	26

今に時点で		
身につけている	少しは身につけている	全然身につけていない
48	44	8
16	60	24
78	20	2
36	52	12
26	72	2
14	60	26
26	60	14
14	62	24
28	62	10
10	82	8
8	68	24
8	84	8
6	56	38
20	72	8

4年生	1年前を思い出して		
	身につけていた	少しは身につけていた	全然身につけていなかった
自分のスケジュールを管理する	26.9	53.8	17.2
学習の計画を立てる	16.1	49.5	31.2
課題の提出期限を守る	54.8	31.2	10.8
欠席した授業の内容をすぐに補う	22.6	48.4	25.8
積極的な態度で授業に臨む	23.7	54.8	18.3
文献や資料を読む力	14.0	46.2	36.6
パソコンなどを使って文章や資料を作る力	19.4	43.0	33.3
文章を書く力	16.1	41.9	38.7
常識について	28.0	51.6	17.2
教養を身につける	16.1	61.3	18.3
レポートや論文の書き方	10.8	48.4	37.6
専門領域の知識を身につける	10.8	46.2	39.8
社会問題や政治問題の分析力	8.6	34.4	53.8
コミュニケーション力	28.0	43.0	25.8

今に時点で		
身につけている	少しは身につけている	全然身につけていない
50.5	37.6	8.6
30.1	50.5	16.1
59.1	32.3	5.4
36.6	48.4	11.8
39.8	45.2	11.8
25.8	57.0	14.0
37.6	50.5	7.5
30.1	50.5	16.1
38.7	47.3	10.8
26.9	54.8	14.0
30.1	54.8	11.8
30.1	59.1	7.5
17.2	47.3	31.2
44.1	46.2	6.5

別途資料

授業や個別で指導してほしかったこと(11項目)

建学の精神や理念を指導(%)	グループで			
	ほしい	少しほしい	余りしてほしくない	してほしくない
1年生	13.3	51.1	22.2	13.3
2年生	0.0	35.1	49.1	15.8
3年生	4.0	28.0	50.0	18.0
4年生	6.7	29.2	42.7	21.3

個別で			
ほしい	少しほしい	余りしてほしくない	してほしくない
2.3	39.5	25.6	32.6
0.0	22.8	43.9	33.3
2.0	12.0	50.0	36.0
4.5	15.7	37.1	42.7

大学の歴史・伝統を指導(%)	グループで			
	ほしい	少しほしい	余りしてほしくない	してほしくない
1年生	6.7	53.3	24.4	15.6
2年生	5.4	26.8	50.0	17.9
3年生	2.0	38.0	42.0	18.0
4年生	6.8	36.4	44.3	12.5

個別で			
ほしい	少しほしい	余りしてほしくない	してほしくない
4.8	28.6	35.7	31.0
5.3	17.5	43.9	33.3
0.0	18.4	44.9	36.7
5.7	14.8	50.0	29.5

カリキュラム編成と卒業単位に履修の指導(%)	グループで			
	ほしい	少しほしい	余りしてほしくない	してほしくない
1年生	73.3	22.2	0.0	4.4
2年生	50.9	43.9	3.5	1.8
3年生	62.0	34.0	2.0	2.0
4年生	65.2	24.7	10.1	0.0

個別で			
ほしい	少しほしい	余りしてほしくない	してほしくない
70.5	22.7	0.0	6.8
56.1	35.1	5.3	3.5
57.1	36.7	6.1	2.0
50.6	28.1	15.7	5.6

履修登録の具体的な方法の指導(%)	グループで			
	ほしい	少しほしい	余りしてほしくない	してほしくない
1年生	75.6	22.2	2.2	0.0
2年生	43.9	50.9	3.5	1.8
3年生	54.0	40.0	2.0	4.0
4年生	58.4	34.8	5.6	1.1

個別で			
ほしい	少しほしい	余りしてほしくない	してほしくない
77.3	18.2	2.3	2.3
43.9	49.1	3.5	3.5
48.0	38.0	6.0	8.0
48.3	29.2	14.6	7.9

授業担当教官の学問的な期待を理解する方法の指導(%)	グループで			
	ほしい	少しほしい	余りしてほしくない	してほしくない
1年生	33.3	52.4	9.5	4.8
2年生	19.3	64.9	12.3	3.5
3年生	30.6	63.3	6.1	3.5
4年生	31.5	53.9	11.2	3.4

個別で			
ほしい	少しほしい	余りしてほしくない	してほしくない
33.3	47.6	14.3	4.8
19.3	59.6	17.5	3.5
32.7	53.1	12.2	2.0
27.0	43.8	20.2	9.0

効果的な学習方法の指導(%)	グループで			
	ほしい	少しほしい	余りしてほしくない	してほしくない
1年生	81.8	15.9	2.3	0.0
2年生	59.6	33.3	5.3	1.8
3年生	76.0	22.0	2.0	0.0
4年生	55.1	37.1	5.6	2.2

個別で			
ほしい	少しほしい	余りしてほしくない	してほしくない
77.3	20.5	0.0	2.3
66.7	24.6	7.0	1.8
82.0	12.0	4.0	2.0
52.8	36.0	5.6	5.6

大学内の施設・設備の利用方法の指導(%)	グループで			
	ほしい	少しほしい	余りしてほしくない	してほしくない
1年生	35.6	46.7	8.9	8.9
2年生	10.5	49.1	26.3	14.0
3年生	22.0	52.0	18.0	8.0
4年生	36.0	44.9	13.5	5.6

個別で			
ほしい	少しほしい	余りしてほしくない	してほしくない
34.9	44.2	11.6	9.3
7.0	43.9	29.8	19.3
16.0	42.0	26.0	16.0
22.5	40.4	23.6	13.5

大学で利用できる制度(留学など)の指導(%)	グループで			
	ほしい	少しほしい	余りしてほしくない	してほしくない
1年生	35.6	46.7	13.3	4.4
2年生	36.8	47.4	12.3	3.5
3年生	54.0	40.0	4.0	2.0
4年生	48.3	37.1	14.6	0.0

個別で			
ほしい	少しほしい	余りしてほしくない	してほしくない
27.9	51.2	18.6	2.3
36.8	45.6	12.3	5.3
42.0	46.0	8.0	4.0
39.3	34.8	20.2	5.6

大学で利用できるサービス(就職相談など)の指導(%)	グループで			
	ほしい	少しほしい	余りしてほしくない	してほしくない
1年生	62.2	31.1	2.2	4.4
2年生	50.9	45.6	0.0	3.5
3年生	78.0	22.0	0.0	0.0
4年生	68.5	29.2	2.2	0.0

個別で			
ほしい	少しほしい	余りしてほしくない	してほしくない
53.5	37.2	2.3	7.0
59.6	33.3	1.8	5.3
72.0	24.0	0.0	4.0
59.6	31.5	2.2	6.7

学習や生活面での悩みを相談する方法の指導(%)	グループで			
	ほしい	少しほしい	余りしてほしくない	してほしくない
1年生	36.4	40.9	9.1	13.6
2年生	29.8	45.6	15.8	8.8
3年生	56.0	32.0	12.0	0.0
4年生	42.7	44.9	5.6	6.7

個別で			
ほしい	少しほしい	余りしてほしくない	してほしくない
50.0	34.1	4.5	11.4
31.6	49.1	10.5	8.8
54.0	30.0	14.0	2.0
41.6	38.2	12.4	7.9

キャンパスのルールの指導(%)	グループで			
	ほしい	少しほしい	余りしてほしくない	してほしくない
1年生	33.3	51.1	8.9	6.7
2年生	14.0	40.4	31.6	14.0
3年生	16.0	52.0	22.0	10.0
4年生	34.8	31.5	23.6	10.1

個別で			
ほしい	少しほしい	余りしてほしくない	してほしくない
27.9	41.9	20.9	9.3
12.3	40.4	26.3	21.1
12.0	46.0	28.0	14.0
23.6	34.8	27.0	14.6

別途資料

2008年度キャンパスライフに関するアンケート調査(在校生用)

1. あなたが所属している専攻の年次について、あてはまる番号に○をつけてください。
 1. 人間福祉学科社会福祉専攻 (1. 2年次 2. 3年次 3. 4年次)
 2. 人間福祉学科介護福祉専攻 (1. 2年次 2. 3年次 3. 4年次)
2. あなたは自宅通学ですか、自宅外通学ですか。あてはまる番号に○をつけてください。
 1. 自宅通学
 2. 自宅外通学
3. あなたは、どの入試を受けて本学に入学しましたか。あてはまる番号1つに○をつけてください。
 1. 一般入試
 2. 指定校推薦入試
 3. 一般推薦選抜入試
 4. A0入試
 5. 大学入試センター試験を利用する入試
 6. その他の特別選抜(外国人留学生入試、社会人特別選抜入試)
4. 本学は、あなたが何番目に志望した大学ですか。あてはまる番号に○をつけてください。
 1. 第一志望
 2. 第一志望以外
5. あなたは現役でしたか、浪人でしたか。あてはまる番号に○をつけてください。
 1. 現役
 2. 一浪以上
 3. その他(留学生、社会人など)
6. 福祉専門科目の授業についてお聞きします。あてはまる番号に○をつけてください。
 1. 受講したい
 2. とりあえず受講しなければならないと思う
 3. できれば受講したくない
7. 一般教養科目の授業について
 1. 受講したい
 2. とりあえず受講しなければならないと思う
 3. できれば受講したくない
8. 語学の授業について
 1. 受講したい
 2. とりあえず受講しなければならないと思う
 3. できれば受講したくない
9. いま関心のある科目がありますか。(専門内外を問いません)
 1. はい
 2. いいえ

「はい」と答えた人は、具体的にどのような科目かをあげてください。(複数回答可)

別途資料

1 0. あなたの高校での成績は、学年の中で大体どのくらいでしたか。

次の中から最も近い番号に○をつけてください。

1. 上位の方だった。
2. 中の上ぐらいだった。
3. 中ぐらいだった。
4. 中の下ぐらいだった。
5. 下位の方だった。
6. わからない、覚えていない、その他

1 1. 高校で学んだ科目の不得意、得意についてお聞きします。

	学業は得意でしたか
国語	1. 得意 2. 普通 3. 不得意
英語	1. 得意 2. 普通 3. 不得意
世界史	1. 得意 2. 普通 3. 不得意
日本史	1. 得意 2. 普通 3. 不得意
政治・経済	1. 得意 2. 普通 3. 不得意
現代社会	1. 得意 2. 普通 3. 不得意
数学	1. 得意 2. 普通 3. 不得意
物理	1. 得意 2. 普通 3. 不得意
化学	1. 得意 2. 普通 3. 不得意
生物	1. 得意 2. 普通 3. 不得意
地学	1. 得意 2. 普通 3. 不得意
音楽	1. 得意 2. 普通 3. 不得意
家庭科	1. 得意 2. 普通 3. 不得意
体育	1. 得意 2. 普通 3. 不得意
その他 1	1. 得意 2. 普通 3. 不得意
その他 2	1. 得意 2. 普通 3. 不得意

1 2. あなたが大学に進学した理由として以下の項目はどれくらい重要ですか。あてはまる番号にそれぞれ1つ○をつけてください。

1) 就職に有利だから	1. 重要 2. いくらか重要 3. 非常に重要
2) 周りの人たちが進学を希望したから	1. 重要 2. いくらか重要 3. 非常に重要
3) 親の希望だから	1. 重要 2. いくらか重要 3. 非常に重要
4) すぐに働きたくなかったから	1. 重要 2. いくらか重要 3. 非常に重要
5) 大学で学ぶ内容に興味があったから	1. 重要 2. いくらか重要 3. 非常に重要
6) 幅広い教養を身につけたかったから	1. 重要 2. いくらか重要 3. 非常に重要
7) 専門的知識を身につけたかったから	1. 重要 2. いくらか重要 3. 非常に重要
8) 学生生活を楽しんでみたかったから	1. 重要 2. いくらか重要 3. 非常に重要
9) 資格を取るために必要だったから	1. 重要 2. いくらか重要 3. 非常に重要
10) より高い学歴のために必要だったから	1. 重要 2. いくらか重要 3. 非常に重要

別途資料

13. あなたは、いまどのようなことを身につけたいと思いますか。あてはまる番号にそれぞれ一つ○をつけてください。

	一年前を思い出して、	いまの時点で
1. 自分のスケジュールを管理すること	1. 身についていた 2. 少しは身についていた 3. 全然身につけていなかった	1. 身につけている 2. 少しは身につけている 3. 全然身につけていない
2. 学習の計画を立てること	1. 身についていた 2. 少しは身についていた 3. 全然身につけていなかった	1. 身につけている 2. 少しは身につけている 3. 全然身につけていない
3. 課題の提出期限を守ること	1. 身についていた 2. 少しは身についていた 3. 全然身につけていなかった	1. 身につけている 2. 少しは身につけている 3. 全然身につけていない
4. 欠席した授業の内容をすぐに補うこと	1. 身についていた 2. 少しは身についていた 3. 全然身につけていなかった	1. 身につけている 2. 少しは身につけている 3. 全然身につけていない
5. 積極的な態度で授業に臨むこと	1. 身についていた 2. 少しは身についていた 3. 全然身につけていなかった	1. 身につけている 2. 少しは身につけている 3. 全然身につけていない
6. 文献や資料を読む力	1. 身についていた 2. 少しは身についていた 3. 全然身につけていなかった	1. 身につけている 2. 少しは身につけている 3. 全然身につけていない
7. パソコンなどを使って文章や資料を作る力	1. 身についていた 2. 少しは身についていた 3. 全然身につけていなかった	1. 身につけている 2. 少しは身につけている 3. 全然身につけていない
8. 文章を書く力	1. 身についていた 2. 少しは身についていた 3. 全然身につけていなかった	1. 身につけている 2. 少しは身につけている 3. 全然身につけていない
9. 常識について	1. 身についていた 2. 少しは身についていた 3. 全然身につけていなかった	1. 身につけている 2. 少しは身につけている 3. 全然身につけていない
10. 教養を身につける	1. 身についていた 2. 少しは身についていた 3. 全然身につけていなかった	1. 身につけている 2. 少しは身につけている 3. 全然身につけていない
11. レポートや論文の書き方を身につける	1. 身についていた 2. 少しは身についていた 3. 全然身につけていなかった	1. 身につけている 2. 少しは身につけている 3. 全然身につけていない
12. 専門領域の知識を身につける	1. 身についていた 2. 少しは身についていた 3. 全然身につけていなかった	1. 身につけている 2. 少しは身につけている 3. 全然身につけていない
13. 社会問題や政治問題の分析力	1. 身についていた 2. 少しは身についていた 3. 全然身につけていなかった	1. 身につけている 2. 少しは身につけている 3. 全然身につけていない
14. コミュニケーション力	1. 身についていた 2. 少しは身についていた 3. 全然身につけていなかった	1. 身につけている 2. 少しは身につけている 3. 全然身につけていない

別途資料

14. あなたは、以下のことで授業や授業以外のプログラムでそれを指導してほしいと思いますか。あてはまる番号にそれぞれ1つ○をつけてください。

	授業で	個別指導で
1)大学の建学の精神や理念	1. 指導してほしい 2. やや指導してほしい 3. あまり指導してほしくない 4. 指導してほしくない	1. 指導してほしい 2. やや指導してほしい 3. あまり指導してほしくない 4. 指導してほしくない
2)大学の歴史・伝統	1. 指導してほしい 2. やや指導してほしい 3. あまり指導してほしくない 4. 指導してほしくない	1. 指導してほしい 2. やや指導してほしい 3. あまり指導してほしくない 4. 指導してほしくない
3)カリキュラム編成と卒業単位の修得方法	1. 指導してほしい 2. やや指導してほしい 3. あまり指導してほしくない 4. 指導してほしくない	1. 指導してほしい 2. やや指導してほしい 3. あまり指導してほしくない 4. 指導してほしくない
4)履修登録の具体的な方法	1. 指導してほしい 2. やや指導してほしい 3. あまり指導してほしくない 4. 指導してほしくない	1. 指導してほしい 2. やや指導してほしい 3. あまり指導してほしくない 4. 指導してほしくない
5)授業担当教員の学問的な期待を理解する方法	1. 指導してほしい 2. やや指導してほしい 3. あまり指導してほしくない 4. 指導してほしくない	1. 指導してほしい 2. やや指導してほしい 3. あまり指導してほしくない 4. 指導してほしくない
6)効果的な学習方法	1. 指導してほしい 2. やや指導してほしい 3. あまり指導してほしくない 4. 指導してほしくない	1. 指導してほしい 2. やや指導してほしい 3. あまり指導してほしくない 4. 指導してほしくない
7)大学内の施設・設備の利用方法	1. 指導してほしい 2. やや指導してほしい 3. あまり指導してほしくない 4. 指導してほしくない	1. 指導してほしい 2. やや指導してほしい 3. あまり指導してほしくない 4. 指導してほしくない
8)大学で利用できる制度(留学など)	1. 指導してほしい 2. やや指導してほしい 3. あまり指導してほしくない 4. 指導してほしくない	1. 指導してほしい 2. やや指導してほしい 3. あまり指導してほしくない 4. 指導してほしくない
9)大学で利用できるサービス(就職相談など)	1. 指導してほしい 2. やや指導してほしい 3. あまり指導してほしくない 4. 指導してほしくない	1. 指導してほしい 2. やや指導してほしい 3. あまり指導してほしくない 4. 指導してほしくない
10)学習や生活面での悩みを相談する方法	1. 指導してほしい 2. やや指導してほしい 3. あまり指導してほしくない 4. 指導してほしくない	1. 指導してほしい 2. やや指導してほしい 3. あまり指導してほしくない 4. 指導してほしくない
11)キャンパスのルール	1. 指導してほしい 2. やや指導してほしい 3. あまり指導してほしくない 4. 指導してほしくない	1. 指導してほしい 2. やや指導してほしい 3. あまり指導してほしくない 4. 指導してほしくない

別途資料

15. あなたは授業期間中、通常1週間に約何時間、授業中以外に学習活動(勉強、文章作成、読書 等)を行いましたか。あてはまる番号に○をつけてください。

1. 1時間以下 2. 2～3時間 3. 3～4時間 4. 4時間以上

16. あなたは、通常1週間に約何時間、仕事またはアルバイトをしていますか。あてはまる番号に○をつけてください。

1. 0時間 2. 1～10時間 3. 11～20時間
4. 21～30時間 5. 31～40時間 6. 41時間以上

17. あなたは、最近3ヶ月で何冊ぐらい授業とは関係のない読書(漫画、趣味・娯楽雑叢を除く)をしましたか。あてはまる番号に○をつけてください。

1. 0冊 2. 1冊 3. 2冊 4. 3冊 5. 4冊 6. 5冊以上

18. あなたは、パソコンや携帯やゲームなどのIT機器を使う時間は通常一日何時間ですか。あてはまる番号に○をつけてください。

1. 1時間以下 2. 2～3時間 3. 3～4時間 4. 4時間以上

19. 実習をしていく上で、もっと改善してほしい授業内容について意見を述べてください。

20. 人間福祉学科教育科目について、こんな科目がほしいと思うものがあれば述べてください。

注:新入生用は在学生用の13項目の「1年前を思い出して」という設問はない。